



CONTENTS —おもな内容—

9月定例会の概要・常任委員会審査概要・・・2～5P

9月定例会一般質問・・・6～11P

- | | | |
|----------------|----------------|-----------------|
| ●筒井 寛 議員・・・6P | ●中山武彦 議員・・・7P | ●芦高清友 議員・・・7P |
| ●森井常夫 議員・・・8P | ●福岡憲宏 議員・・・8P | ●河杉博之 議員・・・9P |
| ●中谷一輝 議員・・・9P | ●鈴木篤志 議員・・・10P | ●上田井良二 議員・・・10P |
| ●関 義秀 議員・・・11P | | |

特別委員会の概要・・・11P

12月定例会は12月4～18日(予定)・・・12P

平成29年9月第5回（定例会）について

会期：9月4日～9月22日（19日間）

9月定例会の概要

9月定例会では、理事者から、条例の一部改正、一般会計や特別会計の決算など合計26件の議案が提案されました。議員からは意見書2件が提案されました。

総括質疑では、地域交流センターの指定管理者の指定に関することや、みつわ保育所の建替えに伴う受け入れ定員の増加に関する事など、提出議案に対して質疑を行いました。

また9月定例会は前年度の一般会計や特別会計の決算の審査を行い、予算執行に対する考え方や実施してきた事業の成果などを検証しました。

6日は総務企画委員会、7日は福祉教育委員会、8日は建設水道委員会、11日、12日は決算特別委員会を開会し、本会議で付託された案件について慎重に審査を行いました。

22日に開会された本会議の最終日では、理事者から提案された議案はすべて可決、認定しました。また、議員から提案された意見書2件も可決し閉会しました。

議案付託一覧表

総務企画委員会	議第51号、議第54号、議第57号、議第59号、 認第6号、認第7号
福祉教育委員会	議第52号、議第53号、議第55号、議第56号、 認第2号～4号、意見書第4号
建設水道委員会	議第58号、認第5号、認第8号

（議案名はP5参照）

常任委員会の審査概要
常任委員会に付託した議案について、主な議案の審査内容の一部をお伝えします。

総務企画委員会

○議第59号
指定管理者の指定について

【議案内容】

11月1日から供用開始を予定している地域交流センターを指定管理として運営する。指定管理者には、これまで自治会集会所などを安定的に運営してきた実績がある、地元自治会の白鳳台自治会を指定する。

【主な質疑・答弁】

（問） 市からは、財政的な面なども含めた支援は行うのか。

（答） 指定管理を行う初年度になるので、適正に事務執行ができるように財政的支援が必要だと考えている。



地域交流センター

（問） 指定管理者を民間企業に依頼した場合の費用は、自治会が運営した場合と比較してどのようになるのか。

（答） 自治会を指定管理者とした場合、全体の管理運営費が1300万円、人件費は約500万円となる。民間企業の場合では

人件費のみで1100万円が計上されており、自治会の運営だと半額程度になると考えている。

福祉教育委員会

○議第53号

香芝市立保育所設置条例の一部を改正することについて

【議案内容】

老朽化によるみつわ保育所の建替え工事に伴い、平成30年4月より現在の定員120名から200名に増員し、待機児童の解消を図るものである。

【主な質疑・答弁】

(問) 現在、どの保育所でも定員を超えて児童を受け入れている状況のなか、みつわ保育所の定員が大幅に増えることになるが、他の公立保育所とのバランス調整は考えているのか。



みつわ保育所

(答) 民間事業者にもお願いするなど、待機児童の解消に取り組んでいるところであ

り、公立保育所でも本来の定員に近づけるように調整していく。

(問) 児童を募集するにあたって、年齢による区分ごとの定員は周知するのか。

(答) 保育所の定員は流動的で常に受け入れ人数が変化するので、誤解を招かないような形で周知を考えている。

○認第4号

平成28年度香芝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

【議案内容】

歳入決算額は41億3837万2000円で歳出決算額は39億5963万7000円なので、差引額は1億7873万5000円であり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は1億7693万6000円の黒字となる。

【主な質疑・答弁】

(問) 認知症の方が徘徊された場合に備えて、居場所が分かるシステムの構築などは考えているのか。

(答) 認知症の方の家族から申請があれば登録をしてQRコードシールを発行している。QRコードを読み取ると登録番号が分かるので、市に問い合わせると特定できる

ようになっている。

(問) 介護認定者に対する事業で効果的なものはあったのか。

(答) 手足に麻痺のあった方が通所型サービスマンでリハビリを受けたことよって、スポーツジムに通えるようになった事例がある。

建設水道委員会

○認第5号

平成28年度香芝市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

【議案内容】

歳入総額は19億3506万4000円で、歳出総額19億1213万円なので差引額2293万4000円であり、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は2289万4000円の黒字になる。

【主な質疑・答弁】

(問) 今後の下水道の普及に関して、地理的に整備が難しい地域もあるなかで、どのように進めていくのか。

(答) 平成37年度に普及率が80%、47年度には100%になるように計画を立てており、普及していない地域を考慮して必要な能力を満たすように敷設を行っていく。

決算特別委員会（9月11日、12日）

平成28年度香芝市一般会計決算を認定

歳入総額	247億6083万8千円
歳出総額	245億0734万2千円
歳入歳出差引額	2億5349万6千円

【案件】「認第1号 平成28年度香芝市一般会計歳入歳出決算の認定について」

決算特別委員会は9月11日・12日の2日間にわたって開催しました。委員からは数多くの質疑があり、慎重に審査を行いました。認第1号は、賛成多数により原案のとおり認定しました。



【質疑・答弁】

（質疑） 今後の資金需要が増加した場合、一般財源の確保が必須となるが、市民サービスを低下させずに対応していくにはどのような方法があるのか。

（答弁） 一般財源が足りなくなった場合のために備えている財政調整基金を有効的に活用していく。財政調整基金を活用した分は、今後に備えて計画的に積み立てをしていく。

（質疑） 平成28年度の予算案を提案したとき、歳出全般にわたる徹底した改革を進めると言われていたが、具体的にはどのような改革を進めてきたのか。

（答弁） これまでのように、市の単独で事業をしていくのではなく他の自治体などと協力して事業を推し進めてきた。

広陵町との中学校給食センターや、市長会も一丸となって取り組んできた精神障がい者の医療費助成など、これまでの前例にとらわれることなく、今一番しなければいけないことを進めてきた。

（質疑） 実質公債費比率を今後3年間で18%前半にしていこうと目標を持っておられる中で、平成28年度で成果をあげた事業はあったのか。

（答弁） 防犯カメラの設置事業、子ども子育てに関わる保育所緊急整備事業や小規模保育所の改修等支援事業、中学校給食センターの建設、コンビニ交付サービスの実施などがあげられる。

○委員構成

委員長 北川重信 **副委員長** 上田井良二

委員 河杉博之 中川廣美 中村良路 下村佳史 中谷一輝 芦高清友

平成29年9月第5回（定例会）香芝市議会の結果

議案番号	議案名	議決の結果
報告		
報第7号	平成28年度決算における健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	報告受理
報第8号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分の報告について	
報第9号	香芝市営住宅条例の一部を改正する条例の専決処分の報告について	
条例		
議第51号	香芝市情報公開条例及び香芝市個人情報保護条例の一部を改正することについて	原案可決 (全会一致)
議第52号	香芝市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正することについて	
議第53号	香芝市立保育所設置条例の一部を改正することについて	
予算		
議第54号	平成29年度香芝市一般会計補正予算（第2号）について	原案可決 (全会一致)
議第55号	平成29年度香芝市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	
議第56号	平成29年度香芝市介護保険特別会計補正予算（第1号）について	
議第57号	平成29年度香芝市財産区財産特別会計補正予算（第1号）について	
決算		
認第1号	平成28年度香芝市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定
認第2号	平成28年度香芝市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定 (全会一致)
認第3号	平成28年度香芝市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	
認第4号	平成28年度香芝市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	
認第5号	平成28年度香芝市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	
認第6号	平成28年度香芝市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	
認第7号	平成28年度香芝市財産区財産特別会計歳入歳出決算の認定について	
認第8号	平成28年度香芝市水道事業会計決算の認定について	
その他		
議第58号	平成28年度香芝市水道事業剰余金の処分について	原案可決 (全会一致)
議第59号	指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
同第17号	香芝市公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意 (全会一致)
同第18号	香芝市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	原案同意 (全会一致)
諮第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	原案承認 (全会一致)
諮第4号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
諮第5号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
諮第6号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
選第3号	奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について	選挙
議員提出議案		
意見書第4号	小中学校におけるプログラミング必修化に対して支援を求める意見書	原案可決
意見書第5号	国民健康保険の県単位化に伴う公正公平な制度設計を求める意見書	原案可決 (全会一致)

各議員の賛否の状況（全会一致を除く）

議員 議案	芦高	鈴木	中谷	筒井	福岡	上田	下村	中山	森井	中村	関	小西	細井	中川	河杉	北川	賛 成	反 対
	清友	篤志	一輝	寛	憲宏	井良二	佳史	武彦	常夫	良路	義秀	高吉	宏純	廣美	博之	重信		
決 算												議長						
認第1号	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	13	2

※小西議長は採決に加わりません。
(賛成…○、反対…×、退席…△、欠席…-)

9月定例会の一般質問は9月19日から20日に行われ、その内容は次のとおりです。なお、内容は各議員までお問い合わせください。(掲載は質問順)

問合せ先 議会だより編集委員会
TEL 77-8221

一般質問 質問者・項目

- 筒井 寛
 - 防災・減災・災害発生時の対応について
 - 造血幹細胞提供者に対する助成について
- 中山 武彦
 - SDGsの取り組みと食品ロスについて
 - 子どもの安全対策について
 - 後期高齢者医療制度について
 - 芦 高 清 友
 - 香芝市における保育所のあり方について
- 森井 常夫
 - 通学路の安全確保のための整備について
 - 災害対策について
- 福岡 憲 宏
 - 聴覚障がい者の不便を解消する施策について
 - 本市のイベントについて
- 河杉 博之
 - 市内の公園の状況について
 - 市内世代間交流について
- 中谷 一輝
 - 平成29年6月定例会における鎌田副市長の会議及び答弁等の法理解釈等について
 - 廣瀬教育長の事務執行に対する瑕疵への責任について
 - 学校給食の食材納入の偽装の疑いについて
- 鈴木 篤志
 - 香芝市議会全員協議会に報告された「ごみ越境」事件について
 - 一般廃棄物収集委託業務の指名資格について
 - 一般廃棄物収集の許可に関する根拠について
- 上田井 良 二
 - 中学校給食について
 - 全国瞬時警報システム(Jアラート)について
 - 避難所の機能について
- 関 義 秀
 - 小・中学校のエアコン設置について
 - 防災(危機管理)対策について

※詳細は、香芝市議会のホームページをご覧ください。



筒井 寛 議員

▼防災・減災・災害発生時の対応について

(問) 防災訓練はどれだけの自治会で実施されているのか。

(危機管理監) 平成28年度は12自治会で実施された。今年度は7自治会で訓練の実施が計画されている。

(問) 自主防災組織のない自治会には、どのような指導を行っているのか。

(危機管理監) 市としては、リーダー育成や機材の整備に対し補助を行っており、自主防災組織づくりに努めている。

(問) 自主防災組織のレベル向上のために、出前講座を実施しているがどういった内容なのか。



防災訓練の様子

(危機管理監) HUGやDIGといった避難経路の確認や、避難所運営訓練の指導などを行っている。

(問) 災害用備蓄品の定期的な確認は行っているのか。

(危機管理監) 避難所、備蓄倉庫ご

とにリスト化して、備蓄状況の管理・確認を行っている。

(問) 一般社団法人地震予兆研究センター(EPRC)の研究データの活用は考えていないのか。

(危機管理監) 研究データの提供が有料である点や、地震が少ない本市で活用できるのかといった懸念があるので、慎重に検討する。

▼造血幹細胞提供者に対する助成について

(問) 骨髄を提供するドナー経験者は何人存在するのか。

(福祉健康部次長) 平成27年までで香芝市では10名おられる。

(問) ドナー経験者の方の体験談を、がん教育の一環として取り入れてみてはどうか。

(教育部次長) 経験者の体験談を聞く機会を設けることができれば、提案していきたい。

(問) 骨髄提供者に対する助成金制度を導入している自治体は把握しているのか。

(福祉健康部次長) 平成26年4月から橿原市が実施しており、1件の実績があると聞いている。

(問) 本市でも骨髄提供者に対する助成制度を導入してはどうか。

(福祉健康部次長) 制度化することによる効果や他市の状況も見た中で検討していきたい。



中山武彦 議員

▼SDGsの取り組みと食品ロスについて

〔問〕SDGs（持続可能な開発目標）をどのように認識しているのか。

〔企画部長〕 地方創生の概念と通じる点があると考えており、持続可能な成長を目指して各種計画の策定や新たな政策展開に取り組んでいく。

〔問〕中学校給食では、どれだけの残食があるのか。

〔教育部次長〕

配膳量に対する残食量の割合は9.3%となっている。



中学校給食センター

〔問〕残食に対して対策は行っているのか。

〔教育部次長〕 関係者が集まる献立編成会議で協議しており、生徒に対しても食品ロスをなくすように食育を行いたい。

〔問〕一般家庭からの食品ロスは、どのように削減していくのか。

〔市民環境部次長〕 食品ロスの削減に向けて行っている取り組みを啓発

し、市民の意識向上をはかりたい。

▼子どもの安全対策について

〔問〕全国的に7歳児の交通事故が多いが、どのような理由が考えられるのか。

〔市民環境部次長〕 小学校に進学する年齢であり、交通安全の知識が少ないなかで活動範囲が広がるので、事故が多いと考えている。

〔問〕交通安全指導員を導入して、幼児教育に取り組んではどうか。

〔市民環境部次長〕 香芝警察署とも連携をとり、本市の状況に応じて検討していく。

〔問〕公立幼稚園の空調整備は考えていないのか。

〔教育部次長〕 教室の稼働時間などを総合的に判断し、早期に整備できるように検討したい。

〔教育部次長〕

教室の稼働時間などを総合的に判断し、早期に整備できるように検討したい。

▼後期高齢者医療制度について

〔問〕後期高齢者医療保険料の特例軽減の改正に伴い、対象者への周知はどのように行っているのか。

〔福祉健康部次長〕 広報やホームページ、被保険者証の郵送時に同封するパンフレット等で周知を行った。

〔問〕納付相談にこられる方に配慮をしてもらいたいですが、適切に対応してもらえないのか。

〔福祉健康部次長〕 生活状況を勘案し、負担にならないように納付相談などを適切に行っていく。

〔福祉健康部次長〕 生活状況を勘案し、負担にならないように納付相談などを適切に行っていく。

〔福祉健康部次長〕 生活状況を勘案し、負担にならないように納付相談などを適切に行っていく。



荻高清友 議員

▼香芝市における保育所のあり方について

〔問〕公立保育所の民営化を行って

いるが、どのようなメリットがあるのか。

〔教育部次長〕 財政面での補助がある

るので、子どもや保護者にとってよいことは即時に対応できるようになった点だと考えている。

〔問〕民間の小規模保育等は待機児童

対策に非常に有効だが、事業者との連絡体制は整備されているのか。

〔教育部次長〕 感染症などの生命にかかわる問題が発生した場合は市に連絡が入る。

〔問〕先日の大雨の影響で二上保育所では大規模な雨漏りがあったが、施設マネジメントの体制はどのような

になっているのか。

〔教育部次長〕

限られた予算の範囲内では十分に対応でき

ていない部分もあるが、

すぐに対応可能なものは即



二上保育所

時対応している。

〔問〕認定こども園の設置を進める

なかで、公立幼稚園も含めた新しい認定こども園の計画はあるのか。

〔教育部次長〕 市内の社会福祉法人

の裕愛会が畑地区で認定こども園の新設を計画されており、定員が90人の施設になると聞いている。公立幼稚園の認定こども園化は、現時点では考えていない。

〔問〕地域に根差した保育施設の拡

充が求められているなかで、みつわ保育所の定員が120名から200名に定員が増えるなど待機児童対策が進められているが、保育所、幼稚園、認定こども園といった公共性の高い施設は、子どもたちの徒歩圏内である小学校区を越えることがない

ように、配置バランスを考慮して計画的につくっていただきたいと考えている。

〔問〕市長は今後の保育・教育の充実に

ついてはどのように考えているのか。

〔市長〕 ゼロ歳から15歳までの一貫した教育を進めているなかでこども課を創設した。それぞれの地域に就学前の保育・教育施設を計画的につ

くっていきたいと考えている。

本市は出生率も高く、子どもの多

いまちなので、子どもたちがいきいきと過ごしていけるように、環境の

整備を進めていきたい。

整備を進めていきたい。

整備を進めていきたい。

整備を進めていきたい。



森井常夫議員

▼通学路の安全確保のための整備について

〔問〕登下校時の見守り活動を行っているボランティアの方と学校の連携は、どのように行っているのか。

〔教育部長〕ボランティアの方と会議を実施し、また学校の行事予定表を提供して協力をお願いするなど様々な方法で連携をとっている。

〔問〕通学路の危険箇所点検や巡回はどのように行っているのか。

〔教育部長〕教育委員会や市の道路管理者、警察が点検を行って、対応策を検討している。

〔問〕対策が必要な危険箇所は何箇所あるのか。

〔教育部長〕平成24年度から28年度の間に対策が必要だと判断した箇所は362箇所あった。

〔問〕危険箇所の改善は進んでいるのか。

〔教育部長〕309箇所は改善が完了しており、残る部分も対策を進めている。

〔問〕子ども110番の活動は、どれだけの方に協力していただいているのか。

〔市民環境部長〕現在1295世帯の方に協力していただいている。

〔問〕登下校時の見守り活動に対して、どのように考えているのか。

〔市民環境部長〕行政にとっても非常にありがたいと、継続して活動していただきたいと考えている。

▼災害対策について

〔問〕防災行政無線屋外スピーカーが設置されてない地域では、緊急避難情報をどのように発信するのか。



防災行政無線屋外スピーカー

〔危機管理監〕携帯電話を利用した緊急速報メールが一番有効な手段だと考えている。

〔問〕想像を超える災害が発生した場合、どのように対応するのか。

〔危機管理監〕行政は市内全域に対応する必要があるため、地域の住民がお互いに協力し合って安全確保に努めてもらう必要がある。

〔問〕避難準備情報が発令された場合、要支援者の対応はどのように行うのか。

〔危機管理監〕自治会には避難行動要支援者名簿を配布しているので、基本的には自主防災組織で対応をお願いしたい。



福岡憲宏議員

▼聴覚障がい者の不便を解消する施策について

〔問〕手話通訳に関しては、どのような取り組みを行っているのか。

〔福祉健康部長〕手話通訳者設置事業や手話通訳派遣事業を行っている。

〔問〕一般の方が開催されるイベントに手話通訳を依頼した場合は、派遣してもらえないのか。



手話通訳者

〔福祉健康部長〕派遣することは、可能である。

〔問〕手話奉仕員の養成講座について、お聞きしたい。

〔福祉健康部長〕耳が聞こえる人も聞こえない人も、ともに暮らしやすい社会を目指して開催しており、入門編と基礎編、合わせて全46回からなる講座である。

〔問〕奉仕員養成講座の他市の状況を見ると通訳者の間に位置する講座、後期講習もされているが、今後、拡充される考えはないのか。

〔福祉健康部長〕現状を見て次の対策を考えていきたい。

〔問〕命にかかわる救急や消防への連絡体制は、どのようになっているのか。

〔福祉健康部長〕広域消防へはFAXやネット119、奈良県警へはメール110、香芝市貸与の緊急通報装置による通報等が利用できる。

〔問〕インクルーシブ教育の必要性等についてお聞きしたい。

〔教育長〕本市は、すべての小中学校において、障がいを持っている子供たちだけが別学級で教育を受けていない。視覚障がい、聴覚障がい、あるいは発達障がい、すべて可能な限り学級のなかで子どもたちが一緒に学んでおり、インクルーシブ教育を推進している。

〔問〕手話奉仕員の修了書を市長から手渡ししてほしいが、その点どうか。

〔市長〕賞状を渡すことによって、より理解が深まるのであれば、積極的にやっていきたいと思う。

▼本市のイベントについて

〔問〕市では、各種イベントを開催されているが、なぜ市民課にあるモニターで宣伝しないのか。

〔企画部長〕各種様々な情報を発信できるよう、各所管に周知をした。



河杉博之議員

▼市内の公園の状況について

〔問〕公園の管理は、どのように行っているのか。

〔都市創造部次長〕草刈りや遊具等の点検は、年2回行っている。

〔問〕草刈りは、年2回で十分だと感じているのか。

〔都市創造部次長〕公園によって、年に2回では間に合わないところもあり、草刈りの回数や時期を調整したい。

〔問〕遊具の点検は、どういう形で行っているのか。

〔都市創造部次長〕本市の職員が現場を回り、主に目視で行っている。

〔問〕職員が目視だけの点検というのは、管理者としての問題が出てくると思うが、その点どのように考えているのか。

〔都市創造部次長〕年2回の点検を無駄にしないために、記録を蓄積することが必要であると思う。

〔問〕危険が伴う遊具は、撤去後、新しい遊具を設置するのか。

〔都市創造部次長〕地元自治会の意向を聞き、その地区に合った遊具を選定し交換している。

〔問〕なぜ、現在、街区公園でボール遊びを禁止しているのか。

〔都市創造部次長〕公園利用者間の安全の確保と、周辺道路、隣接地に及ぼす影響等を考え、公園でのボール遊びは禁止している。

〔問〕公園の新設整備の考えはないのか。

〔都市創造部次長〕現在、都市基幹公園であるスポーツ公園や、総合公園の整備は、重点的に進めているが、ご指摘の身近な公園は、借地公園設置要綱に基づき、地元の方の協力が必要となり、条件が合えば整備を行いたい。

▼市内世代間交流について

〔問〕高齢化が進んでいく中で、世代間交流が必要になってきているが、その拠点として、学校の施設の利用も考えられるが、その点どうなのか。



子ども敬老会の様子

〔教育部長〕学校の空き教室等を利用した世代間交流は、地域コミュニティで果たす役割は大きいと思う。

今後適切な安全対策を講じたうえで学校にさらに多くの地域住民が集えるような、機会を増やしていきたいと考えている。



中谷一輝議員

▼平成29年6月定例会における鎌田副市長の会議及び答弁等の法理解釈等について

〔問〕議員が使用する文言に対し、一体何の法律の根拠をもとに制限または権利の侵害を行おうとしたのか。

〔副市長〕私のポジションは、総括的な部分についてお答えするのが仕事であると認識しているので、何ら違和感はない。教育にかかわることで邪魔をしたとおっしゃることが、私にはわからない。

〔問〕行政法の基本である権利の濫用の原則は、どのように考えているのか。

〔副市長〕権利を侵してはいけないという趣旨を指摘いただいていると思うので、そのことを肝に銘じて業務に対応していきたい。

▼廣瀬教育長の事務執行に対する瑕疵への責任について

〔問〕昨年からの幼稚園の入園に関する権利侵害、公金紛失事件、認定子ども園事件など、教育長はどのような責任をとられたのか。

〔教育長〕幼稚園の入園に関しては、

臨時の教育委員会を開催し、幼稚園に入園希望している、全員を入園出来る判断をされた。私も間違いを正すという処置をとり、説明責任を果たしたと思う。

2点目の公金の点は、市長、副市長、そして私の給与を10分の1カ月の減給を実施し、処分をみずから科している。

また、認定子ども園の件に関しましては、間違いを認め、おわびもさせていただき、私の責任を果たしたと考えている。

▼学校給食の食材納入の偽装の疑いについて

〔問〕小学校に対し平成28年度5月の豚肉納入約500キロに対し、提出されている公文書である販売証明書が4頭は納入の一部であったと認められたが、それ以外の調査結果をお聞きしたい。

〔教育部長〕現在、教育委員会では、すべての業者において、昨年度の書類を一から見直し作業を行っている。ご指摘の部分だけではなく、肉、野菜等、すべて調査を行っていることから、かなり莫大な書類になっており、時間を要している。

〔教育長〕偽装はないと確信しており、食の安全、安心は担保されている。



鈴木篤志議員

▼香芝市議会全員協議会に報告された「ごみ越境」事件について

〔問〕他市町村からのごみ越境による処理等における公金支出損害額についてお聞きしたい。

〔市民環境部次長〕直接的な損害は美濃園に対するものであり、まずは美濃園で金額を算定する。

〔問〕ごみ越境に関する損害賠償金の請求の実施は、どのように考えているのか。

〔市民環境部次長〕第一義的には損害を受けるのは美濃園なので、美濃園からの請求になると考える。

〔問〕平成20年に今回と同様のごみ越境問題が議会で追及され、その後、平成21年にかけてごみ越境に関する大胆な調査が行われました。その後、平成25年から4年間、一気に事業系ごみの数量が増大したが、どのような監視を行ってこられたのか。



美濃園

〔市民環境部次長〕今、調査とおつ

しゃっているが、いつからどのような調査が行われたのか、市民衛生課や美濃園にも公文書として保存されているものはない。

▼一般廃棄物収集委託業務の指名資格について

〔問〕昨年度に、香芝市の一般廃棄物収集の事務に民間会社に委託され、プロポーザル方式による随意契約により数社を指名なされたとき及んでいるが、どのような指名要件または指名基準によって指名されたのか。

〔市民環境部次長〕平成28年の民間委託時において、市内の一般廃棄物収集運搬業の許可業者、7社を指名して行った。

〔問〕平成25年度に株式会社JKから株式会社AMカンパニーに業者が変更になっているが、新たな事業者の参入は認められてないが、どのような根拠で新規参入できたのか。

〔市民環境部次長〕事業継承は、平成29年4月13日香芝市告示60号により公表しており、一般廃棄物処理実施計画に基づき判断した。

〔問〕事業系一般廃棄物の収集許可に関して、その他事由により、許可、不許可に当たる回答をしたことがあるのか。

〔市民環境部次長〕その他事由による許可、不許可というのではない。



上田井良二議員

▼中学校給食について

〔問〕給食センターの開設後、1年が経過するが、給食が「おいしくない」との意見があるが、何か対策をしているのか。

〔教育部次長〕2カ月ごとの献立編成部会や物資選定部会で学校、学識経験者との意見交換をするなど改善に向けての検討を重ねている。「おいしくない」という汚名を返上するため、継続的に改善に努めている。

〔問〕アンケートを実施され、課題等も出ていると思うが、今後の見通しをお聞きしたい。

〔教育部次長〕献立編成会議や物資の選定部会で検討し、地場産品の強化を図りながら給食の意義を理解していただくよう努力したい。

また、食育推進の強化として、生徒を対象とした給食指導や、保健体育や家庭科などの授業と連携しながら食に関する正しい知識を伝える必要がある。また、保護者にも理解いただけるように、給食だよりだけでなく、給食センターの見学会や試食会などを積極的に開催して、給食のあり方を発信したい。

▼全国瞬時警報システム（Jアラート）について

〔問〕Jアラートが過去2回発報しているが、市民へ何か指導されたのか。

〔危機管理監〕平成28年度に実施した全国一斉情報伝達訓練の際には、広報紙への掲載や自治会長への周知、また市のホームページなどを通じて市民へ周知を行った。

▼避難所の機能について



全国瞬時警報システム装置

〔問〕トイレは、どれくらい保有しているのか。

〔危機管理監〕マンホールトイレは、健民グラウンドに4基、また、小中学校に46基を設置している。そのほか、各小中学校に避難対策用備蓄トイレを1基ずつ配備し、学校並びに備蓄倉庫には、災害時用簡易トイレを約1万5000枚備蓄している。学校におけるトイレ機能の確保は、100%になる予定である。

〔問〕来年度予算で、さらに設備面での投資は考えているのか。

〔危機管理監〕平成30年度の設備面での投資予定はない。



関 義秀 議員

▼小・中学校のエアコン設置について

〔問〕児童・生徒の体調面を考慮し、教室にエアコンを設置していただきたいが、その点は、どのような認識をもっているのか。

〔市長〕学校の施設設備の中で、ICT導入、トイレの洋式化、エアコンの設置が、喫緊の課題だと認識している。そのなかで、29年度は、トイレの洋式化に着手した。また、エアコン設置は、国の補助が読み切れない状況であるが、現在、協議をしており、早い時期に着手できるように最善を尽くしたいと考えている。

▼防災（危機管理）対策について

〔問〕狭隘な道路の解消による緊急輸送道路までのネットワークを構築することが必要だと思うが、その点どのように考えているのか。

〔都市創造部長〕現在、緊急輸送道路の柱となる国道165号、国道168号の拡幅整備が進められており、地域防災計画の緊急輸送体制の整備という観点からも、狭隘道路整備をはじめとする道路整備を継続的に進めることも防災上重要であると

考えている。

〔問〕アマチュア無線の協力や支援体制は、どのように考えているのか。

〔危機管理監〕現在、奈良県防災行政通信ネットワークを利用しており、新たな費用負担が生じるアマチュア無線の庁舎内基地局設置は、慎重にならざるを得ない。

〔問〕防災井戸を登録していただいでから現在までの経緯についてお聞きしたい。



防災井戸

〔危機管理監〕現在、16件の防災井戸が登録されているが、平成22年度以降、募集等を行っていないことから、今年度、再度募集を行いたい。防災井戸は、狭隘な道路に隣接する区域では生活用水などの確保のために重要と認識しており、今後も、広報等PRに努めたい。

〔問〕ナラ枯れは、土砂災害の発生する危険性のみならず、市の自然景観を著しく悪化させているが、市として、どのように考えているのか。

〔市長〕自然環境の保護という側面から、自然をしっかりと守り、よりよい環境になるように注視したい。

香芝市立下田幼稚園に関する調査特別委員会

9月4日に第3回目の特別委員会を開催しました。理事者からは再発防止策として、職員の資質向上、委託業務の工程管理、指名競争入札における指名業者の選定、主要事業の進捗管理、市役所の政策決定システム、建築関係の工事等について、以上6項目が示されました。

これまで3回にわたって特別委員会を開催し、下田幼稚園の問題を議論してきました。今回のことを踏まえ、今後同じような問題が起こらないように要望し、それに対し、理事者からは関係職員に対する口頭厳重注意処分と副市長より課長級以上の職員に対する訓示を課し、市長・教育長の連名での経緯説明を広報誌に掲載する旨の報告を受け、本特別委員会を消滅することに決定しました。

【質疑・答弁】

〔質疑〕今回の問題では、余裕をもったスケジュール設定ができていなかったことが前提にあると思うが、再発防止策を考えるうえでどのように協議を行ったのか。

〔答弁〕待機児童の解消にむけた重要な事業だと認識はしていたが、それが工程管理に活かされていなかった。今後は市民ニーズに迅速に対応をしていくなかで、工程に無理がないのか正確に見きわめて余裕をもって判断していくことが必要だと考えている。

〔質疑〕再発防止策の職員の資質向上には、職員一人ひとりが法令能力を高めることが書かれているが、専門の部署をつくって対応していくことについては、どのように考えているのか。

〔答弁〕法令を担当している課に相談に行くなど、自ら担当する業務に関わる法令に対して、理解を深めることだと考えている。

平成29年12月定例会会期（予定） ※午前9時開会

月	日（曜日）	会議名
12	4日(月)	本会議
	6日(水)	総務企画委員会
	7日(木)	福祉教育委員会
	8日(金)	建設水道委員会
	13日(水)～14日(木)	一般質問
	18日(月)	本会議

* 正式な会期・日程案は、議会運営委員会で決定されます。

香芝市議会情報のご案内

本会議（一般質問など）や常任委員会（総務企画委員会、福祉教育委員会、建設水道委員会）、議会運営委員会、特別委員会などの会議録の検索、議案の議決結果、議員紹介、議会改革のあゆみ、傍聴の手続き、本会議・委員会の録画配信など香芝市議会の情報をご覧ください。

香芝市議会ホームページ <http://www.city.kashiba.lg.jp/shigikai/>

奈良県市議会議長会から表彰



北川重信議員



細井宏純議員

奈良県市議会議長会から、細井宏純議員が正副議長を2年つとめ、市政の発展に貢献した功績に対して、特別表彰を受賞されました。

また、北川重信議員が20年以上市議会議員として市政の発展に貢献した功績に対して、表彰を受賞されました。

議会日誌

- 平成29年 8月
 - 22日 議会運営委員会
 - 23日 中学生議会
 - 25日 奈良県市議会議長会
 - 29日 香芝・王寺環境施設組合臨時会
- 9月
 - 4日 本会議
 - 6日 総務企画委員会
 - 7日 福祉教育委員会
 - 8日 建設水道委員会
 - 11日～12日 決算特別委員会
 - 19日～20日 一般質問
- 10月
 - 2日 香芝市議会改革調査特別委員会
 - 24日～25日 奈良県市議会議長会
 - 26日～27日 福祉教育委員会行政視察研修
県外視察研修
 - 31日 香芝・王寺環境施設組合議会
- 11月
 - 7日～8日 総務企画委員会行政視察研修
【静岡県富士市・富士宮市】
建設水道委員会行政視察研修
【岐阜県関市・静岡県御前崎市】
 - 9日 議会だより編集委員会
 - 20日 議会運営委員会
 - 21日 奈良県市議会改革調査特別委員会

編集後記

秋も深まり、冬の訪れを感じております。皆様いかがお過ごしでしょうか。10月には台風21号の影響で市内のみならず、県内でも水害など多くの被害がありました。被害にあわれた方が一日も早く元の生活に戻れるようにお祈りしています。

さて、面白い話題では相撲発祥の地としてPRしている本市で、大相撲香芝場所が開催されました。ご覧になられた方も多いのではないのでしょうか。ちびっこ相撲などさまざまな催し物があり相撲を身近に感じることができたと思います。

また、4横綱が土俵入りし、取組する姿にはすごく迫力があり、圧倒されたものがありました。

1年も早いもので、12月が近づいてまいりました。12月には定例会を開催いたします。年末となりお忙しい中ではございますが、傍聴にお越しいただければと思います。

ご意見等がありましたら、議会だより編集委員会までお寄せください。

〔問合せ〕TEL77-8221 議会事務局内

議会だより編集委員会

- 委員長 中川廣美
- 副委員長 筒井 寛
- 委員 北川重信
- 河杉博之
- 下村佳史
- 中谷一輝